

田辺市国民健康保険
第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画
-概要版-
令和6年度（2024年）～令和11年度（2029年）

1 基本的事項

1. データヘルス計画の主旨と他計画との整合性

データヘルス計画	特定健康診査等実施計画
「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」ことが掲げられた。これを踏まえ、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定する。	平成20年度より「高齢者の医療の確保に関する法律」（昭和57年法律第80号）に基づき、特定健康診査・特定保健指導の実施が義務付けられた。同法律に基づき作成された特定健康診査等基本方針に基づき、実施計画を策定する。
データヘルス計画の目的	
平均自立期間の延伸（開始時：男性78.5歳・女性84.2歳） 一人あたり医療費の減少（開始時：25,130円）	
他計画との位置づけ	
本計画は健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえるとともに、健康増進計画や医療費適正化計画、介護保険事業（支援）計画、高齢者保健事業の実施計画及び国民健康保険運営方針と調和のとれたものとする。	
関係者連携	
国保担当が中心となって、関係部局や関係機関の協力を得て、保険者の健康課題を分析し、計画を策定する。また、後期高齢者医療担当や介護保険担当、生活保護（福祉事務所）担当と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者や生活保護受給者の健康課題も踏まえて保健事業を展開する。	
計画の評価	個別事業の評価
設定した計画の評価指標に基づき、KDBシステム等を活用し、計画の最終年度のみならず、中間時点等計画期間の途中で進捗確認及び中間評価を実施する。	設定した保健事業ごとの評価指標に基づき、KDBシステム等を活用し、毎年度、評価を実施し、必要に応じて次年度の保健事業の実施内容等の見直しを行う。

2. データヘルス計画の構成

基本構成			
計画策定に際しては、まず、KDBシステムや公的統計等を用いて死亡、介護、医療、健診などの関連データを分析し、地域における健康課題を抽出する。健康課題の整理に際しては、以下の生活習慣病の進行イメージに沿って、特に保健事業における介入により予防可能な疾患に着目する。 次に、整理した健康課題及び前期計画の振り返りを踏まえ、計画目的及び目標を設定した上で、目標達成のために取り組むべき保健事業の優先順位付けを行い、各事業の評価指標を設定する。			
生活習慣病の進行イメージ			
不健康な生活習慣	生活習慣病予備群 メタボリックシンドローム	生活習慣病	生活習慣病重症化 死亡・介護
【出典】厚生労働省 新たな健診・保健指導と生活習慣病対策 ※本紙P.11			

2 健康課題の抽出～目的・目標の設定

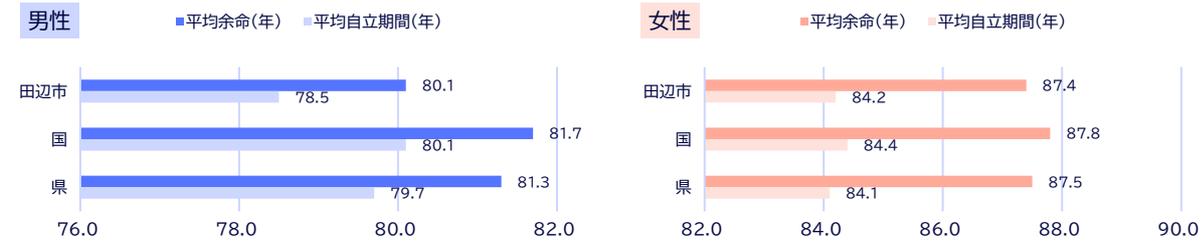
1. 死亡・介護・生活習慣病重症化（入院医療・外来（透析））

【平均余命・平均自立期間】

男性の平均余命は80.1年で、国・県より短い。国と比較すると、-1.6年である。女性の平均余命は87.4年で、国・県より短い。国と比較すると、-0.4年である。

男性の平均自立期間は78.5年で、国・県より短い。国と比較すると、-1.6年である。女性の平均自立期間は84.2年で、国より短い。県より長い。国と比較すると、-0.2年である。

平均余命・平均自立期間 ※本紙P. 5



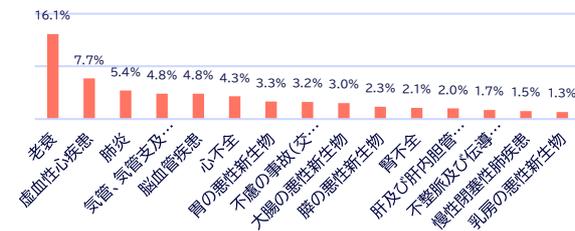
【死亡】

令和3年の生活習慣病における重篤な疾患の死亡者数及び総死亡者数に占める割合は「虚血性心疾患」79人（7.7%）、「脳血管疾患」49人（4.8%）、「腎不全」21人（2.1%）となっている。

平成25年から29年の標準化死亡比は、「急性心筋梗塞」114.3（男性）133.3（女性）、「脳血管疾患」96.8（男性）91.9（女性）、「腎不全」105.0（男性）100.5（女性）となっている。

死亡割合_上位15疾患 ※本紙P. 12

標準化死亡比 (SMR) ※本紙P. 13



死因	標準化死亡比 (SMR)		
	田辺市		国
	男性	女性	
急性心筋梗塞	114.3	133.3	100
脳血管疾患	96.8	91.9	100
腎不全	105.0	100.5	100

【介護】

要介護認定者の有病割合をみると、「心臓病」は64.8%、「脳血管疾患」は20.4%となっている。

要介護認定者の有病割合 ※本紙P. 16

疾病名	要介護・要支援認定者（1・2号被保険者）		国	県	同規模
	該当者数（人）	割合			
糖尿病	1,503	24.0%	24.3%	23.7%	24.2%
高血圧症	3,619	59.1%	53.3%	56.5%	53.8%
脂質異常症	2,321	36.8%	32.6%	32.5%	31.8%
心臓病	3,967	64.8%	60.3%	63.8%	60.8%
脳血管疾患	1,245	20.4%	22.6%	20.5%	23.1%
がん	775	12.1%	11.8%	12.6%	11.3%
精神疾患	2,286	37.3%	36.8%	35.7%	37.0%
うち_認知症	1,415	22.8%	24.0%	22.1%	24.4%
アルツハイマー病	1,070	17.3%	18.1%	17.1%	18.5%
筋・骨格関連疾患	3,521	57.6%	53.4%	57.9%	53.1%

【生活習慣病重症化】入院医療・外来（透析）

「虚血性心疾患」及び「脳血管疾患」を含む「循環器系の疾患」の入院医療費は入院医療費全体の14.7%を占めており、「腎不全」の外来医療費は、外来医療費全体の7.4%を占めている。

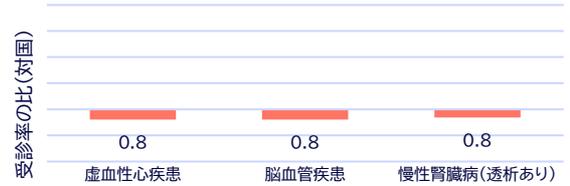
生活習慣病における重篤な疾患のうち「虚血性心疾患」及び「脳血管疾患」の入院受診率はいずれも国より低く、「慢性腎臓病（透析あり）」の受診率は国より低い。

疾病分類（大分類）別_入院医療費_循環器系の疾患 ※本紙P.19 疾病分類（中分類）別_外来医療費_腎不全 ※本紙P.23

疾病分類（大分類）	医療費（円）	入院医療費に占める割合	疾病分類（中分類）	医療費（円）	外来医療費に占める割合
循環器系の疾患	354,917,100	14.7%	腎不全	277,980,440	7.4%

受診率（被保険者千人当たりレセプト件数）_生活習慣病における重篤な疾患 ※本紙P.26

重篤な疾患	田辺市	国	国との比
虚血性心疾患	3.8	4.7	0.80
脳血管疾患	8.2	10.2	0.80
慢性腎臓病（透析あり）	25.5	30.3	0.84



2. 生活習慣病

【生活習慣病】外来医療、健診受診者のうち、受診勧奨対象者

生活習慣病基礎疾患の外来医療費に占める割合は「糖尿病」が8.1%、「高血圧症」が6.6%、「脂質異常症」が3.8%となっている。

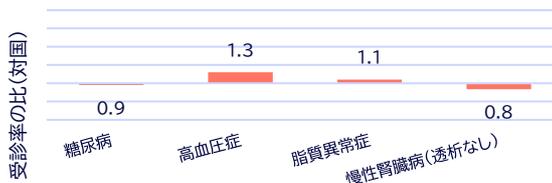
基礎疾患及び「慢性腎臓病（透析なし）」の外来受診率は、「糖尿病」「慢性腎臓病（透析なし）」が国より低い。

疾病分類（中分類）別_外来医療費_基礎疾患（男女合計） ※本紙P.23

疾病分類（中分類）	医療費（円）	外来医療費に占める割合
糖尿病	303,993,780	8.1%
高血圧症	245,772,530	6.6%
脂質異常症	143,504,620	3.8%

受診率（被保険者千人当たりレセプト件数）_基礎疾患 ※本紙P.26

基礎疾患及び慢性腎臓病（透析なし）	田辺市	国	国との比
糖尿病	616.5	651.2	0.95
高血圧症	1126.5	868.1	1.30
脂質異常症	626.5	570.5	1.10
慢性腎臓病（透析なし）	12.0	14.4	0.83



受診勧奨対象者のうち服薬が確認されていない人の割合は、血糖ではHbA1cが6.5%以上であった人の27.7%、血圧ではI度高血圧以上であった人の47.3%、脂質ではLDL-C140mg/dl以上であった人の82.4%、腎機能ではeGFR45ml/分/1.73m²未満であった人の11.5%である。

特定健診受診者における受診勧奨対象者（血糖・血圧・脂質・腎機能）の服薬状況 ※本紙P.42

血糖（HbA1c）	該当者数（人）	服薬なし（人）	服薬なし割合	血圧	該当者数（人）	服薬なし（人）	服薬なし割合
6.5%以上7.0%未満	159	66	41.5%	I度高血圧	1,069	540	50.5%
7.0%以上8.0%未満	137	25	18.2%	II度高血圧	268	99	36.9%
8.0%以上	69	10	14.5%	III度高血圧	47	15	31.9%
合計	365	101	27.7%	合計	1,384	654	47.3%
脂質（LDL-C）	該当者数（人）	服薬なし（人）	服薬なし割合	腎機能（eGFR）	該当者数（人）	服薬なし（人）	服薬なし割合
140mg/dL以上 160mg/dL未満	699	592	84.7%	30ml/分/1.73m ² 以上 45ml/分/1.73m ² 未満	66	8	12.1%
160mg/dL以上 180mg/dL未満	353	301	85.3%	15ml/分/1.73m ² 以上 30ml/分/1.73m ² 未満	9	0	0.0%
180mg/dL以上	189	129	68.3%	15ml/分/1.73m ² 未満	3	1	33.3%
合計	1,241	1,022	82.4%	合計	78	9	11.5%

3. 生活習慣病予備群・メタボリックシンドローム

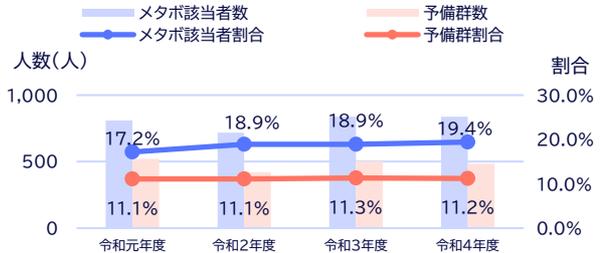
【生活習慣病予備群】メタボ該当者・メタボ予備群該当者

令和4年度特定健診受診者の内、メタボ該当者は837人（19.4%）であり、国・県より低い。メタボ予備群該当者は484人（11.2%）であり、県より低いが、国より高い。令和4年度と令和元年度の該当者割合を比較すると、メタボ該当者の割合は2.2ポイント増加しており、メタボ予備群該当者の割合は0.1ポイント増加している。

メタボ該当者数・メタボ予備群該当者数 ※本紙P. 35

田辺市

	田辺市		国	県
	対象者数 (人)	割合	割合	割合
メタボ該当者	837	19.4%	20.6%	20.5%
メタボ予備群該当者	484	11.2%	11.1%	11.3%



4. 不健康な生活習慣

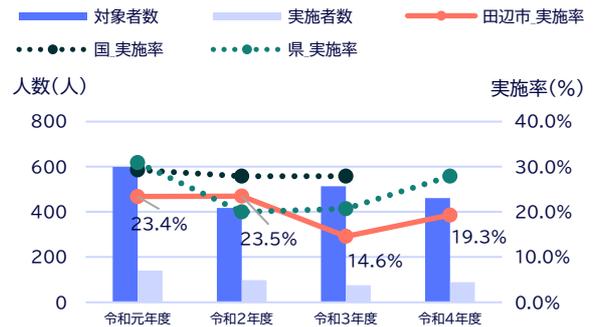
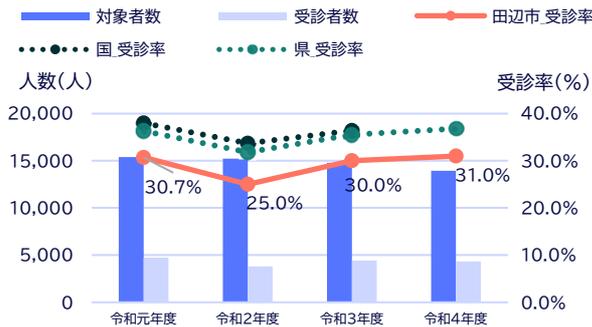
【生活習慣】特定健診受診率・特定保健指導実施率

令和4年度の特定健診受診率（速報値）は31.0%で、令和元年度と比較して0.3ポイント上昇している。令和3年度までの受診率で見ると国・県より低い。

令和4年度の特定保健指導実施率は19.3%で、令和元年度の実施率23.4%と比較すると4.1ポイント低下している。令和3年度までの実施率で見ると国・県より低い。

特定健診受診率（法定報告値） ※本紙P. 31

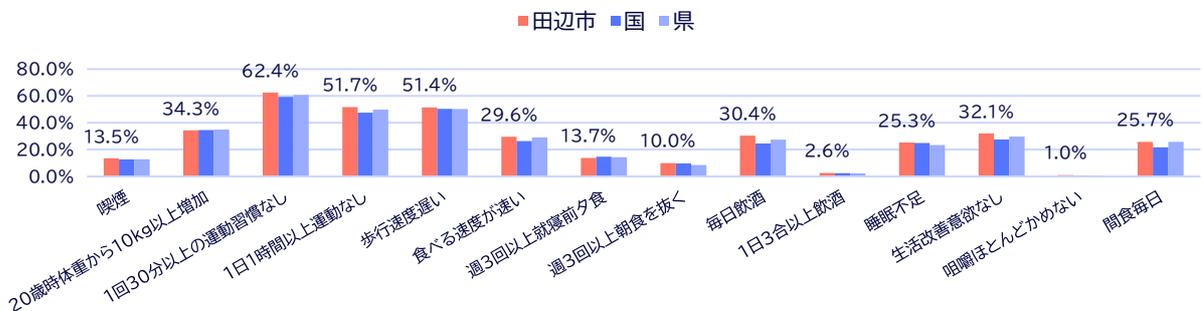
特定保健指導 実施率（法定報告値） ※本紙P. 38



【生活習慣】質問票の回答割合

令和4年度の特定健診受診者の内、国・県と比較して「喫煙」「1回30分以上の運動習慣なし」「1日1時間以上運動なし」「歩行速度遅い」「食べる速度が速い」「週3回以上朝食を抜く」「毎日飲酒」「3合以上」「睡眠不足」「生活改善意欲なし」「咀嚼ほとんどかめない」の回答割合が高い。

質問票項目別回答者の割合 ※本紙P. 43



5. 健康課題の整理

考察	健康課題
<p>◀重症化予防 保健事業により予防可能な重篤疾患を見ると、虚血性心疾患・脳血管疾患・腎不全はいずれも死因の上位に位置している。田辺市ではこれらの疾患の全てでSMRが同水準もしくは高い傾向がある。虚血性心疾患・脳血管疾患の入院受診率及び人工透析の外来受診率は国と比べて低い傾向があるものの、SMRが国と同水準もしくは高い事から、これらの重篤疾患が国と比べ同程度もしくは多く発生している可能性が考えられる。</p> <p>これらの重篤な疾患の原因となる動脈硬化を促進する糖尿病・高血圧・脂質異常症及び慢性腎臓病（透析なし）の外来受診率を見ると、慢性腎臓病（透析なし）は国と比べて低いが、それ以外はいずれも国と比べて同水準もしくは高い。一方で、特定健診受診者においては、血糖・血圧・脂質に関して受診勧奨判定値を上回っているものの該当疾患に関する服薬が出ていないものが血糖では約3割、血圧では約5割、脂質では約8割存在しており、また、腎機能についてもeGFRが受診勧奨判定値に該当しているものの血糖や血圧の薬が出ていないものが約1割存在している。</p> <p>これらの事実から、田辺市では基礎疾患については外来での治療は一定水準なされているものの、外来治療に至っていない有病者も一定数存在しており、より多くの基礎疾患や慢性腎臓病の有病者を適切に治療に繋げ、保健指導を促進することで、虚血性心疾患・脳血管疾患・腎不全といった重篤な疾患の発症を抑制できる可能性が考えられる。</p>	<p>#1 生活習慣病の重症者（脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病の合併症）及び人工透析受療者を増加させないために、未受療の重症化ハイリスク者に対し、適切な医療機関への受診勧奨と重症化予防のための保健指導を促進することが必要。</p>
<p>◀生活習慣病発症予防・保健指導 特定健診受診者の内、メタボ該当者の割合・予備群該当者の割合は増加している。一方で、特定保健指導実施率は国と比べて低いことから、メタボ該当者・予備群該当者に対して十分な保健指導が実施できていない可能性が考えられる。</p> <p>これらの事実・考察から、保健指導実施率を高め、多くのメタボ該当者・予備群該当者に保健指導を実施することができれば、メタボ該当者・予備群該当者を減少させることができる可能性があると考えられる。</p>	<p>#2 メタボ該当者・予備群該当者の悪化を防ぎ、減少させることを目的に、特定保健指導実施率の維持・向上が必要。</p>
<p>◀早期発見・特定健診 田辺市の特定健診受診率は令和2年度よりは上昇傾向にあるものの、国と比べると低く、また特定健診対象者の内、約3割弱が健診未受診者かつ生活習慣病の治療を受けていない健康状態が不明の状態にあることから、本来医療機関受診勧奨や特定保健指導による介入が必要な人が特定健診で捉えられていない可能性が考えられる。</p>	<p>#3 適切に特定保健指導や重症化予防事業に繋ぐことを目的に、特定健診受診率の向上が必要。</p>
<p>◀健康づくり 特定健診受診者における質問票の回答割合を見ると、男女ともに食習慣・飲酒習慣の改善が必要と思われる人の割合が多い。このような生活習慣が継続した結果、高血糖や高血圧、脂質異常の状態に至り、動脈硬化が進行した結果、最終的に虚血性心疾患・脳血管疾患・腎不全の発症に至る者が多い可能性が考えられる。</p> <p>また、食習慣の改善とともに、現在の運動習慣を維持増進することで、さらなる健康づくりに繋がると考えられる。</p> <p>男性（65-74歳）では、「咀嚼_ほとんどかめない」の割合が高く、後期高齢者における質問票の回答状況での口腔・嚥下（「半年前に比べて硬いものが食べにくくなった」「お茶や汁物等でむせることがある」）での回答割合が高いことに繋がっているのではないかと考えられる。</p>	<p>#4 生活習慣病の発症・進行、重篤疾患の発症を防ぐことを目的に、被保険者における食習慣・飲酒習慣の改善が必要。</p> <p>#5 咀嚼について、ほとんどかめない人の割合を減らすことが、将来の口腔・嚥下機能の低下を予防することに繋がるため、改善が必要。</p>

<p>◀介護予防・一体的実施</p> <p>介護認定者における有病割合を見ると、心臓病・脳血管疾患といった重篤な疾患は前期高齢者に比べ後期高齢者の方が多い。また、医療費の観点では、脳出血・脳梗塞・心筋梗塞・慢性腎臓病(透析あり)の医療費が総医療費に占める割合が国保被保険者よりも後期高齢者の方が高い。</p> <p>これらの事実から、国保被保険者への生活習慣病の重症化予防が、後期高齢者における重篤疾患発症の予防に繋がる可能性が考えられる。</p>	<p>#6 将来の重篤な疾患の予防のために国保世代への重症化予防が必要。</p>
<p>◀社会環境・体制整備</p> <p>重複服薬者が190人、多剤服薬者が30人存在することから、医療費適正化・健康増進の観点で服薬を適正化すべき人が一定数存在する可能性がある。</p> <p>後発医薬品の使用割合は令和4年9月時点では72.5%であり、県と比較すると低い為、使用割合を向上することで医療費の抑制に繋がると考えられる。</p>	<p>#7 重複・多剤服薬者に対して服薬の適正化が必要。</p> <p>#8 後発医薬品使用割合の向上が必要</p>
<p>◀その他(がん)</p> <p>悪性新生物は死因の上位にありSMRは男女ともに高い。</p> <p>5がん検診の受診率は17.6%であり、国よりも高いが、更にがん検診の受診率を向上し、早期発見・早期治療に繋げることで、死亡者数・死亡率を抑制できると考えられる。</p>	<p>#9 がん検診の受診を促進することが必要。</p>

6. データヘルス計画の目標と個別保健事業

◀早期発見・特定健診

記載事項	主な項目		開始時	目標値
目標	特定健診受診率の向上		31.0%	37.0%
記載事項	健康課題	主な保健事業名	新規/継続	事業アウトカム指標
個別保健事業	#3	特定健診受診率向上事業	継続	特定健診受診率
	#3	健診受診インセンティブ事業※	継続（一部追加）	特定健診受診率

※第2期データヘルス計画では事業記載がないが、事業は一部実施していた為「継続（一部追加）」と表記

◀生活習慣病発症予防・保健指導

記載事項	主な項目		開始時	目標値
目標	特定健診受診者の内、メタボ該当者の割合の減少		19.4%	15.0%
	特定健診受診者の内、メタボ予備群該当者の割合の減少		11.2%	10.0%
	特定保健指導実施率の向上		19.3%	32.0%
記載事項	健康課題	主な保健事業名	新規/継続	事業アウトカム指標
個別保健事業	#2	特定保健指導実施率向上事業	継続	特定保健指導実施率
	#2	血管いきいき健康教室※	継続	血管いきいき健康教室参加者の次年度の血圧の改善率
				血管いきいき健康教室参加者の次年度の脂質の改善率
				血管いきいき健康教室参加者の次年度の血糖の改善率
				血管いきいき健康教室参加者の次年度の腎機能の改善率

※第2期データヘルス計画では事業記載がないが、事業は実施していた為「継続」と表記

◀重症化予防

記載事項	主な項目		開始時	目標値
目標	HbA1c 6.5%以上、又は空腹時血糖126mg/dl以上で服薬なしの人の割合		32.9%	減少
	収縮期血圧160mmHg以上、又は拡張期血圧100mmHg以上で服薬なしの人の割合		36.0%	減少
	男性のLDLコレステロールが180mg/dl以上で服薬なしの人の割合		69.1%	減少
	尿蛋白（1+）以上、又はeGFR45ml/分/1.73m ² 未満で腎不全の既往歴のない人の割合		92.4%	減少
記載事項	健康課題	主な保健事業名	新規/継続	事業アウトカム指標
個別保健事業	#1/#6	生活習慣病重症化予防事業	継続	集団検診受診者の受療率 医療機関検診受診者の受療率

◀社会環境・体制整備

記載事項		主な項目	開始時	目標値
目標		重複服薬者数の減少	190人	減少
		多剤服薬者数の減少	30人	減少
		後発医薬品の数量シェア	72.5%	80.0%
記載事項	健康課題	主な保健事業名	新規/継続	事業アウトカム指標
個別保健事業	#7	服薬適正化指導事業※	継続	重複服薬者数
				多剤服薬者数
	#8	後発医薬品利用促進事業※	継続	後発医薬品の数量シェア

※第2期データヘルス計画では事業記載がないが、事業は実施していた為「継続」と表記